

生産性を向上させる“経営視点”でのメンタル活性化対策 ～業績向上、うつ改善に貢献したメンタルプログラムとは～

メンタルを活性化すると、生産性向上とうつ改善は同時に起こります。人材活性化、組織活性化という視点の中で対策を行うことによって、「生産性向上」と「うつ改善」を同時達成できるのです。

しかし、こういう視点は一担当者レベルでは組織の中で対策を具現化できません。経営者がかかわり組織活性化の一環として横断的な対策を指示することが不可欠になります。

「どのようにメンタル問題を扱えば、社員自らが変化し会社を生まれ変わらせることができるのか」わかりやすく解説いたします。

講演内容

- ①経営視点でのメンタル安定化対策により、「生産性向上」「モチベーションアップ」「離職率低下」「定着率向上」「うつ改善」などのすべてが解決する、とはどういうことなのか
- ②メンタルが活性化している組織、不活性化組織、の原因を数値分析し、対策を明確にする
- ③筑波大学で開発された、経営視点で現状のメンタルレベルを数値化する独自診断テスト実施
- ④生産性が高く、うつ発生が低い企業のメンタル数値を他社事例で解説
- ⑤生産性を高め、うつを改善する、ソリューションの一部を学ぶ

配信期間

2020年9月中旬から
1か月間を予定

※詳細は動画配信ポータルサイトをご覧ください

視聴時間

約 1 時間

視聴資格

投資先企業限定

視聴方法

投資先各社に予め配布しておりますIDとパスワードでログインしてください。

配信サイト「投資育成セミナー オンライン」

<https://seminar.sbic.co.jp/online/>

- ・動画配信時にはポータルサイト登録者にメールで通知いたします。
- ・視聴用アカウントの新規発行をご希望の投資先の方は、投資育成担当者にその旨をご連絡ください。



講師

日本メンタル再生研究所
代表取締役/所長

山本 潤一 氏

講師プロフィール

生産性向上・メンタル活性化トレーナー。

筑波大学名誉教授、ストレス学者である宗像恒次博士が開発した、脳科学に基づくメンタルトレーニング法を実践し、某プロ野球ピッチャーのメジャーリーガー昇格に貢献し、また、某企業では8割のマネジャーの数値向上、50%の離職減、某上場企業では3年半初回うつ休職者の再発率0%など、数々の実績に貢献する。メンタルを安定化・活性化させることによって、「生産性向上と、うつ改善は同時に達成できる」メンタルプログラムを多くの企業に提供中。